

中1

数学

ポイント

名前 _____

代表値と度数分布

____ 月 ____ 日

まとめ 代表値と度数分布

標準

平均値 = 合計 ÷ 個数。中央値は小さい順に並べたまん中の値、最頻値はいちばん多く出てくる値、範囲 = 最大値 - 最小値。相対度数 = 階級の度数 ÷ 度数の合計。累積度数は最初の階級からその階級までの度数の和。多数回の実験の相対度数は確率とみなせる。

例

$$\begin{aligned}(1) & (2 + 4 + 4 + 5 + 10) \div 5 \\ &= 25 \div 5 \\ &= 5\end{aligned}$$

$$25 \div 5 = 5$$

平均値 = (データの合計) ÷ (データの個数)

$$(2) \quad 2, 4, 4, 5, 10$$

$$2, 4, 4, 5, 10$$

小さい順に並べたまん中が中央値。個数が偶数なら、まん中の2つの平均

$$\begin{aligned}(3) & 10 - 2 \\ &= 8\end{aligned}$$

$$10 - 2$$

範囲 = 最大値 - 最小値。最頻値は、いちばん多く出てくる 4

$$\begin{aligned}(4) & 6 \div 20 \\ &= 0.3\end{aligned}$$

$$6 \div 20$$

相対度数 = 階級の度数 ÷ 度数の合計

$$\begin{aligned}(5) & (10 + 20) \div 2 \\ &= 15\end{aligned}$$

$$(10 + 20) \div 2$$

階級値は、階級のまん中の値(10以上20未満の階級)。度数分布表の最頻値は、度数が最も多い階級の階級値

